

チ ャ ッ ク リ ス ト

様式 2

I 基本的なことがら

チ ャ ッ ク 項 目	工 夫 し た こ と が ら
Iー1 みどり豊かでゆとりある良好な住環境	・敷地境界からの離隔をとり、緑地を設けました。 また、周辺になじむような色彩計画とします。
Iー2 多世代が定住でき、永く住み続けられ心の豊かさにもつながる、まちづくり	・1 住戸当たりの面積を大きくし、多世代が永く住み続けられる住宅となるように配慮します。
Iー3 ユニバーサルデザイン等の導入	・スロープを設け、共用部についてはバリアフリーとなる様に計画します。
Iー4 安心・安全の生活の確保	・オートロックシステムを導入し、安全面の確保に配慮します。
Iー5 都市の熱環境への負荷の低減	・節水型水栓や便器などを採用し環境負荷への配慮をします。
Iー6 地形を活かし、遠景や近景を眺めメリハリのあるまちづくり	・自然も多く、向かいに公園もあるので、周辺に圧迫感を与えない、配置計画とします。
Iー7 魅力ある場所をつくるデザイン	・横長の建物形状となるため、単調なデザインとならないように計画します。
Iー8 美しく開放された空間づくり	・敷地内の有効空地の拡充に努めるとともに、歩道に面する敷際は、開放感のある空間とします。
Iー9 地区計画や建築協定などの積極的活用	・建築物の最高高さが 27.5mを超えないように各階の階高を低く計画します。

チ ャ ッ ク リ ス ト

様式 3

Ⅱ 技術的なことがら (計画の作り方と数値目標)

チ ャ ッ ク 項 目	工 夫 し た こ と が ら
Ⅱ―1 地形を活かし、魅力ある住宅地景観をつくることやまちなみの連続性への配慮	擁壁H= 1.5~2.0 m・L= 88.82 m 法面H= m・L= m ²
Ⅱ―2 高さ、容積率、建ぺい率について	最高高さ 26.99 m・容積率 149.75 % 建ぺい率 28.43 % 隣棟との間隔 m
Ⅱ―3 近隣の建物の配置状況への配慮	隣地とは極力、離隔距離を確保し、バルコニーが向き合わないよう配慮します。
Ⅱ―4 周辺から見た都市景観への配慮	マリオンなどで、建物の外観に凹凸など変化の表情をつけるように計画します。
Ⅱ―5 オープンスペースや緑化スペースと歩行者動線	建蔽率を40%以下とし、オープンスペースを広く確保します。
Ⅱ―6 建物の外壁面の後退の指標	外壁面後退 道路から 2.025m・隣地から 2.124 m
Ⅱ―7 有効空地の指標	歩道設置 (無)・有) W= m・L= m 敷地内空地 59.34 %
Ⅱ―8 敷地面積の規模の指標等	・敷地面積=3,902.87 m ²
Ⅱ―9 防犯性の高い良質な住宅ストック	防犯カメラを設置し、防犯面にも配慮します。
Ⅱ―10 景観デザイン	敷地に緑を取り込むことによりいきいきとした街並み空間を作ります。
Ⅱ―11 まちの庭園化	・緑化率25%確保を目指します。
Ⅱ―12 工作物などの作り方	フェンスH= 2.0 m・L=117.43m 塀 H= m・L= m

*このチェックリストに書ききれない場合は、別紙に記入し添付してください